

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 15 号

第 15 週 (4月6日 ~ 4月12日)

発行年月日:平成21年(2009年) 4月16日

発行 行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

お知らせ:4月1日に大津市が中核市に移行したことに伴い、大津市保健所が開設されました。
滋賀県感染症情報(SIDR)における情報は、大津市保健所管内の情報を含んでいます。

今週の感染症発生動向

インフルエンザの発生は終息のきざし
腸管出血性大腸菌感染症は今年になって3例目の発生

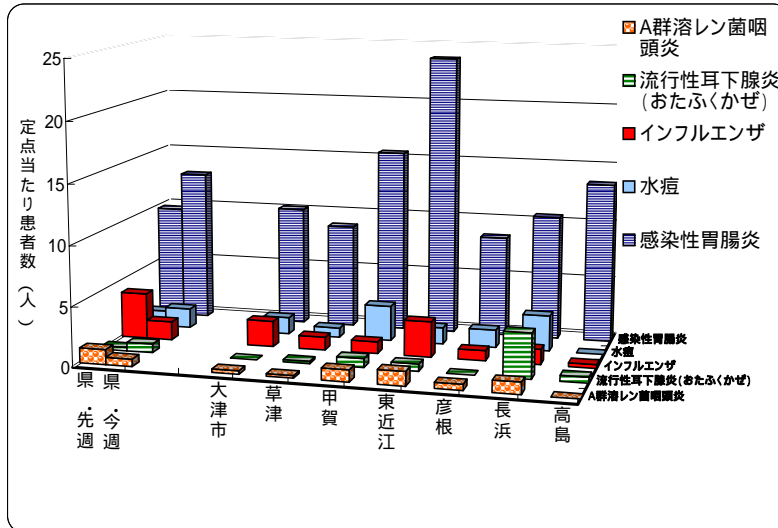
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は先週の報告数とほぼ同様ですが、インフルエンザでは、先週の約1/3に減少しています。

今週増加した疾患は感染性胃腸炎、水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で、減少した疾患はインフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報および注意報の発生状況については、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎で警報発生基準値を、流行性耳下腺炎で注意報発生基準値を超えている保健所管内があります(詳細については、今週の発生状況:滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況参照)。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で3名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で1名、四類感染症のE型肝炎で1名、五類感染症のアメーバ赤痢で2名、破傷風で1名、風しんで1名の届出がありました。

上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第15週、定点当たり患者数)



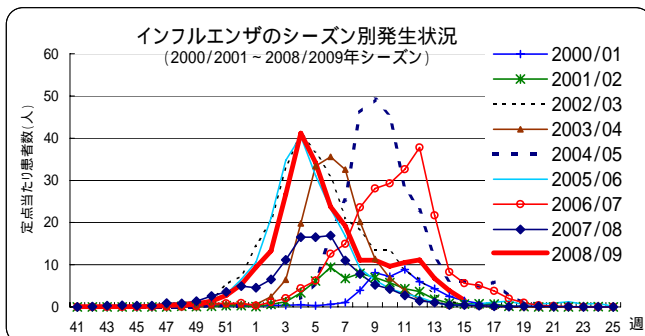
県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、インフルエンザ、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、A群溶レン菌咽頭炎の順に多くなっています。

インフルエンザはすべての保健所管内で先週より減少しています。

感染性胃腸炎は先週に引き続き東近江で多くなっています。また、大津市および高島で急増しています。

流行性耳下腺炎は長浜で多くなっています。

インフルエンザの発生状況



滋賀県におけるインフルエンザの定点当たり患者数は1.56となり、3週連続して減少しています。

全国においても3週連続して減少し、定点当たり患者数は4.06となっています。都道府県別では石川県、秋田県、福井県で多くっており、定点当たり患者数はそれぞれ12.25、11.07、10.75となっています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいますが、届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (15週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (15週)	全国 (15週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	3	85	6,622	282	28,419
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	53	^(*) 3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	1	3	242	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	1	1	12	0	43
	A型肝炎	0	0	26	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	1	1	2
	デング熱	0	0	18	2	104
	マラリア	0	0	21	1	56
	レジオネラ症	0	1	165	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	2	4	240	10	872
	ウイルス性肝炎	0	1	54	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	28	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	34	1	113
	後天性免疫不全症候群	0	2	413	11	1,568
	ジアルジア症	0	0	22	1	76
	梅毒	0	0	203	5	839
	破傷風	1	1	16	5	123
	急性脳炎	0	0	76	1	190
	風しん	1	1	56	2	309
	麻しん	0	0	231	39	11,015

* 1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第15週(4/6～4/12) -

一類感染症: 報告なし		四類感染症: マラリア	2例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	18例
二類感染症: 結核	331例	フルセラ症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
三類感染症: 腸管出血性		レジオネラ症	8例	劇症型溶血性	
大腸菌感染症	16例	レプトスピラ症	1例	レンサ球菌感染症	1例
細菌性赤痢	4例	五類感染症: アメーバ赤痢	8例	バンコマイシン耐性	
腸チフス	2例	梅毒	2例	腸球菌感染症	1例
パラチフス	1例	ジアルジア症	2例	髄膜炎菌性髄膜炎	1例
四類感染症: E型肝炎	1例	破傷風	1例	ウイルス性肝炎	1例
A型肝炎	1例	風しん	5例	急性脳炎	4例
エキノコックス症	1例	麻しん	16例		

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第10～15週、3/2～4/12)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						
	10週	11週	12週	13週	14週	15週	週
	(3/2～)	(3/9～)	(3/16～)	(3/23～)	(3/30～)	(4/6～)	11 12 13 14 15
インフルエンザ	9.61	10.57	11.15	6.78	3.88	1.56	
RSウイルス感染症	0.03	0	0	0.15	0	0.06	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.03	0.12	0.03	0.12	0.55	0.23	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.58	1.97	1.64	1.48	1.26	0.61	
感染性胃腸炎	8.03	10.70	9.12	9.61	9.65	12.87	
水痘	1.55	1.58	2.09	1.67	1.32	1.65	
手足口病	0.39	0.15	0.15	0.18	0	0.13	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.09	0.06	0.06	0.03	0	
突発性発しん	0.36	0.27	0.36	0.45	0.13	0.29	
百日咳	0	0.06	0.03	0.03	0	0.03	
ヘルパンギーナ	0	0	0.06	0.03	0.16	0.16	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.61	0.48	0.67	0.67	0.29	0.74	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0.13	0	0.25	0.25	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0.14	0	0	0.14	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	

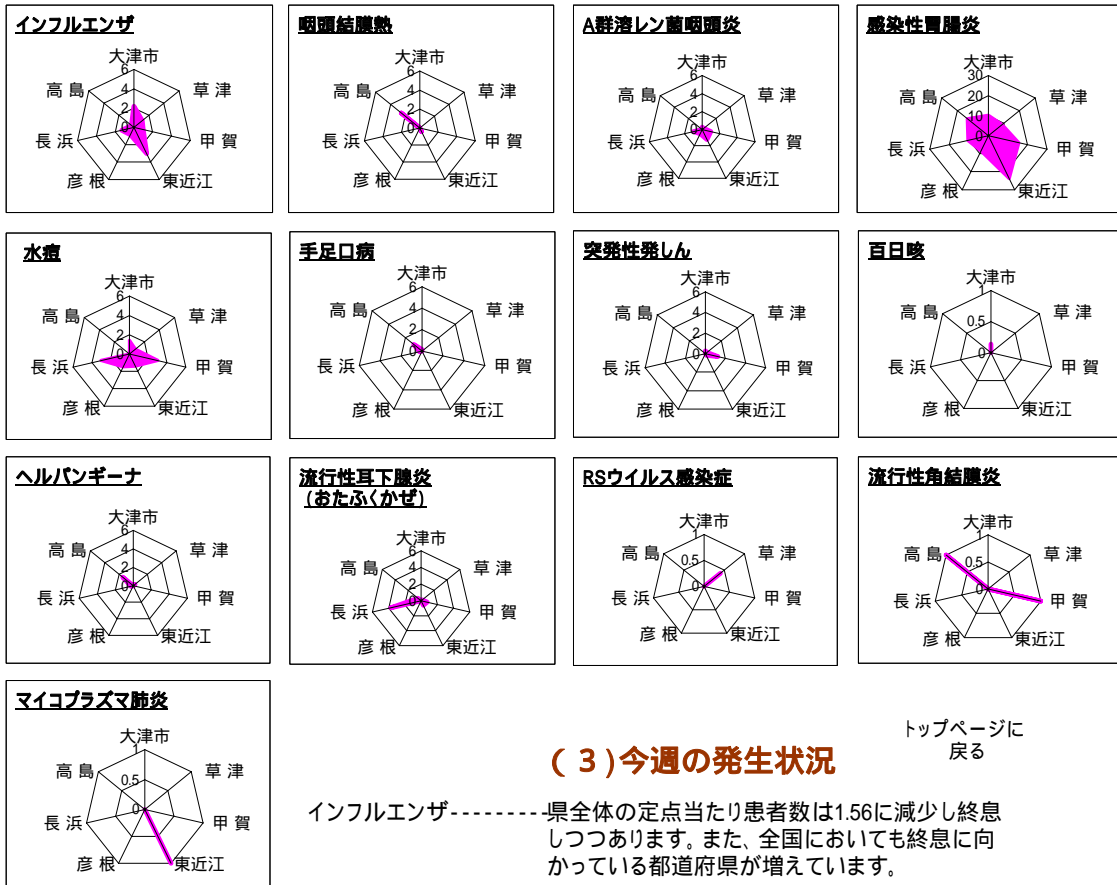
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第15週、4/6～4/12)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	1.56	2.18	1.11	1.00	3.00	0.86	1.29	0.33	
RSウイルス感染症	0.06	0	0.40	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.23	0	0	0	0.40	0	0	2.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.61	0.29	0.20	1.00	1.20	0.50	1.00	0	
感染性胃腸炎	12.87	10.14	8.80	15.50	23.80	8.50	10.50	13.50	
水痘	1.65	1.43	0.80	3.00	1.40	1.50	3.00	0	
手足口病	0.13	0.14	0	0	0	0	0.25	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.29	0.29	0.20	1.25	0.20	0	0	0	
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.16	0	0.20	0	0	0	0.25	1.50	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.74	0	0.20	0.75	0.60	0	3.75	0.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.25	0	0	1.00	0	0	0	1.00	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

0 3 6 9 12 15
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



トップページに
戻る

(3)今週の発生状況

インフルエンザ-----県全体の定点当たり患者数は1.56に減少し終息しつつあります。また、全国においても終息に向かっている都道府県が増えています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎---- 甲賀では6週ぶりに、東近江では11週ぶりに警報終息基準値(2.00)以下となっています。

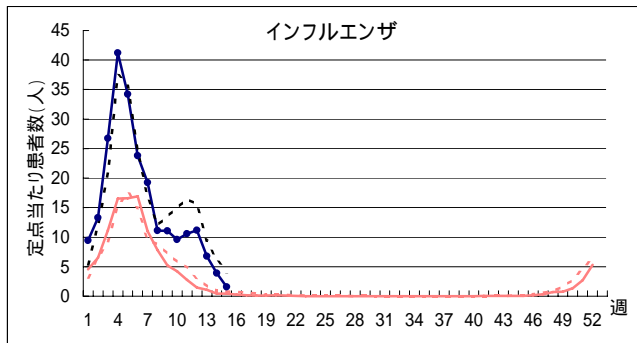
滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況(平成21年第15週)

疾患名	県	保健所管内別							警報開始基準値	警報終息基準値	注意報発生基準値
		大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
咽頭結膜熱(プール熱)	0.23	0	0	0	0.40	0	0	2.50	2.00	0.10	-
感染性胃腸炎	12.87	10.14	8.80	15.50	23.80	8.50	10.50	13.50	20.00	12.00	-
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.74	0	0.20	0.75	0.60	0	3.75	0.50	6.00	2.00	3.00

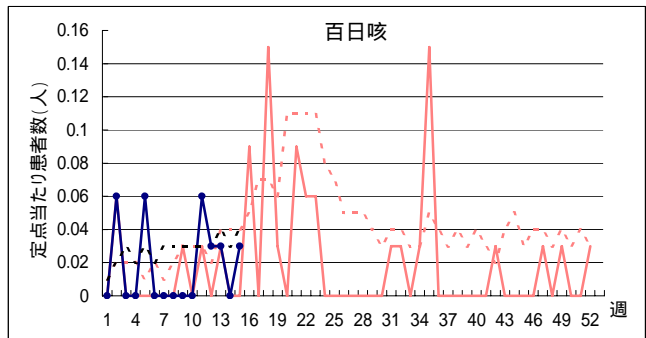
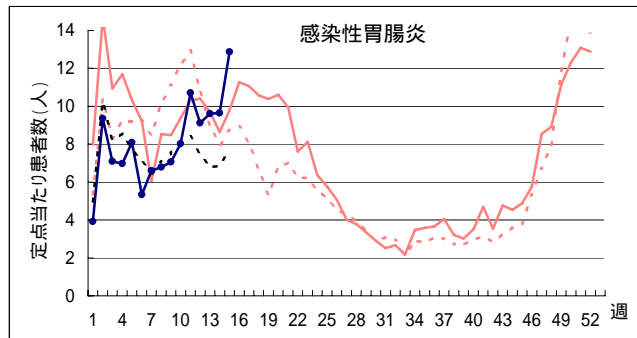
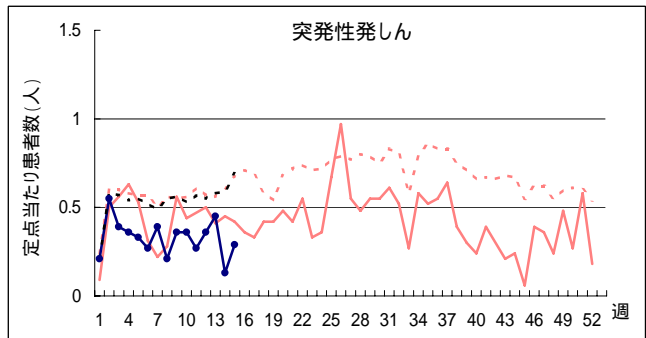
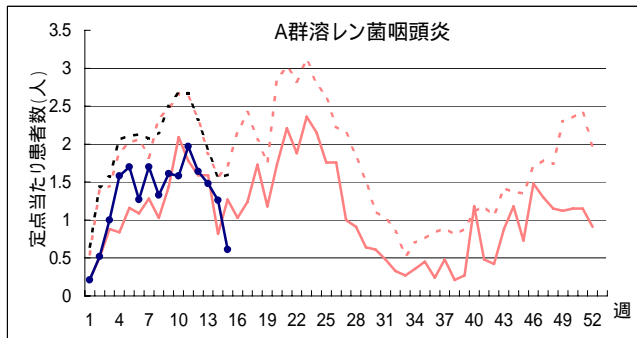
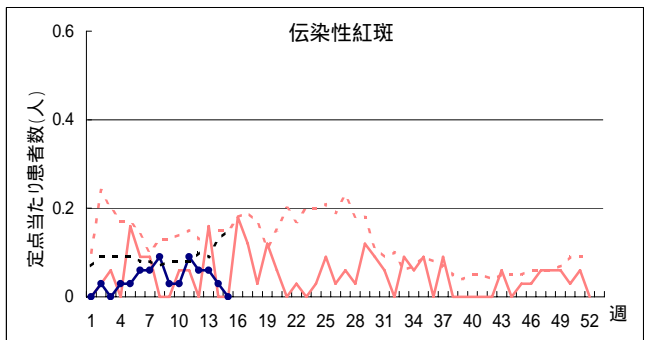
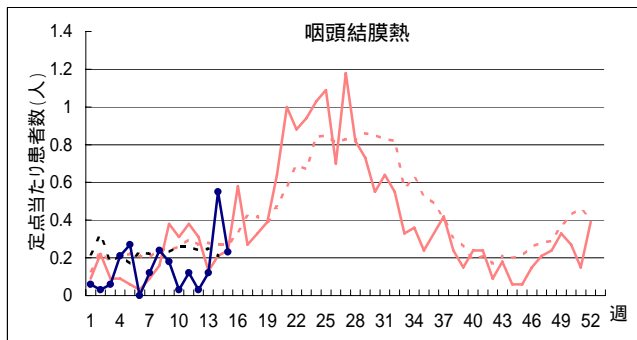
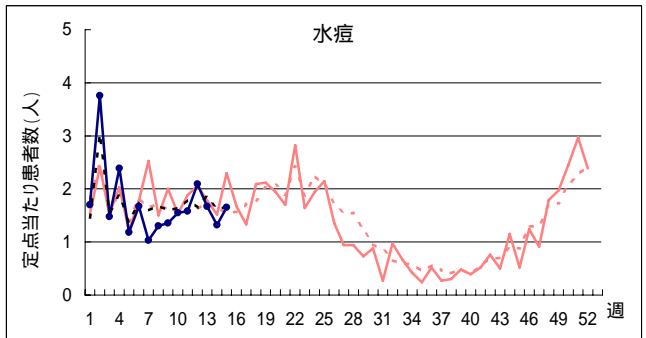
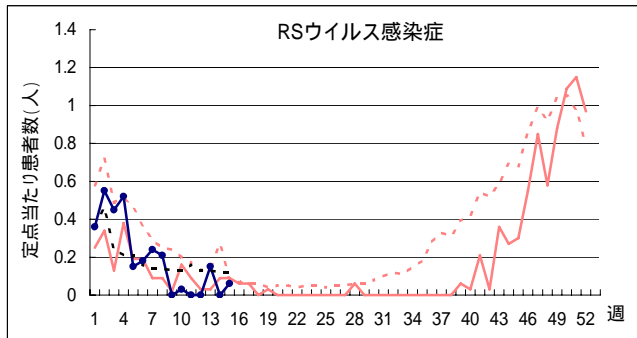
* 基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。また、注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。

★ : 警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。 ★ : 注意報発生基準値を超えています。

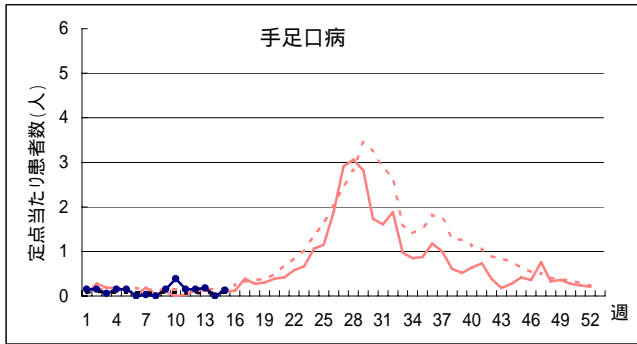
疾病別定点当たり患者数(平成21年第15週、H19.12.29~H21.4.12)



H20 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H21 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第15週、H19.12.29～H21.4.12)



H20
 { 滋賀 ————
 全国 ······
 H21
 { 滋賀 —●—
 全国 ······

